

「でんきと私」 静岡県立科学技術高等学校 2年 電気工学科 飯塚 友也

私は今高校2年生です。工業高校の電気科に通って、電気の勉強をしています。卒業後は就職して電気関係の技術者として働きたいと思っています。私は小さい頃から、ガス会社で働く父の姿を見てきました。ガスは生活に必須なので、日曜日でも電話があれば仕事に行かなければいけません。父は仕事が終わって家にいる時でも、会社の人から電話がかかってきて質問に答えたり、仕事の進み具合を話したりしています。しかし、父がそういった仕事を面倒だと言うことはありませんでした。私は、家にいる時でも電話があればすぐに準備をして、地域の人のために働く父の姿をカッコいいと思いました。そして、私も父のように地域の人の生活を支援したいと思い、電気の技術者になりたいと思いました。学校では電気について座学だけでなく実習も行います。また、私は2年生の夏休みのインターンシップで本物の電気工事を見ました。この2年間で実習のときの先生の話や、インターンシップの経験から、電気の仕事について安全が重要だと強く感じました。実習の授業では安全について厳しく教えられてきました。私はインターンシップでその理由がよく分かりました。電気は人間の目で見ることができないので、今自分の目の前に電気が流れているかどうか分かりません。電気工事をする時には、検電器などで毎回確認しなければいけません。大きな建物を建てる時には電気関係の人だけではなく、多くの職種の人が集まります。そこで危険な工事をしてしまうと、大きな事故を起こしてしまい、作業を大幅に遅らせてしまうと思いました。また、雑な工事を行ってしまうと、作業している時だけでなく、完成後に事故を起こしてしまう可能性もあるので、安全がとても重要なのだと理解しました。実際に働いていたり現場に行かないと学べないことも多いと思いますが、いつか多くの人の生活を支援されるように、今のうちからしっかり勉強しようと思います。